

# Tiny Basic for Windows 更新記録

Ver. 1.5 から Ver.1.6 への更新記録

tbasic.org <sup>\*1</sup>

Ver. 1.60 用 [2023 年 03 月版]

---

環境設定の方法は、「Tiny Basic for Windows 導入編」をご覧ください。

## ■環境設定関係

- 環境設定ファイルとして新たに tbasic.config を使うことにしました。
- これに伴い、Ver. 1.5 まで使用していた、レジストリ、tbasic.ini を廃止しました。
- 環境設定ファイル tbasic.config は tbasic.exe と同じフォルダに常に保存します。
- tbasic.config は UTF-8 で保存される xml ファイルです。
- エンコーディングの初期設定を UTF-8 としました。

以下の関数、コマンドの使用法は、ヘルプを参照してください。

## ■ファイル処理関係

- ユニコードでの出力で BOM の有無を指定できるようになりました<sup>\*2</sup>。
- エンコーディング判定関数 `GetFileEncodingName` を新たにサポートしました。
- バイナリファイルの簡易読み取り、書き込み用の関数、コマンドとして、`ReadAllBytes`、`WriteAllBytes` をサポートしました。

## ■関数

- 数値や文字列を整形する関数 `Format` をサポートしました。

## ■配列操作関係

- 文字列配列や、数値配列を昇順に整列するコマンド `Sort` をサポートしました。
- 逆順への整列のための補助コマンド `Reverse` をサポートしました。

## ■グラフ操作関係

- 画像の縮小・拡大のためのコマンド `ResizeImage` をサポートしました。

## ■コントロール画面関係

- `CLabel` で以下のプロパティの追加しました。
  - `AutoSize`
  - `Transparent`
  - `WordWrap`

---

\*1 <https://tbasic.org>

\*2 Ver. 1.5 までは、常に BOM 付ファイルが生成されました。

- CTextBox で以下のプロパティの追加しました。
  - ReadOnly
  - ReadEnter

■その他

- OS 判定で Windows 11 が認識できるようになりました。